

H29年度 第1回物部川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：9月5日（火）14:00～16:30

場所：香美農林合同庁舎 1階 大会議室

1 議事等

- (1) 産業振興計画関連 年間スケジュールについて
 - ・H29年度のスケジュールを説明
- (2) 地域アクションプランについて
 - 1) 第3期物部川地域アクションプランの進捗状況等について
 - ・上半期の進捗状況等について説明
 - 2) 追加・修正等の案件について
 - ・「龍河洞エリア活性化推進プロジェクト」の追加について説明
 - ・案について了承された
- (3) 産業成長戦略について
 - 1) 移住促進の取り組みについて
 - ・移住促進策の進捗状況等について説明
 - 2) 「志国高知 幕末維新博」の取り組み状況等について
 - ・取り組み状況や第二幕の展開等について説明

2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

- ・特になし

<地域アクションプランについて>

- ・農家数の減少、農家の高齢化が進むなか、IターンやUターンを受け入れる体制が必要となる。県では、移住推進の協議会を立ち上げ議論しているということだが、その方策について伺いたい。
 - 一次産業の担い手の確保は重要であるとの認識のもと、農業分野などでも新規就農者対策として、各種の事業を展開している。移住者の受け入れに関しては、有識者に委員となっていていただく移住推進協議会を定期的開催し、協議をしているところである。移住を考えている方にとって仕事に関する情報は重要であり、この地域に移住するのであればこうした仕事があるといったことをセットで提案するようにしている。
 - また、新たな動きとして、10月には移住の促進等を担う法人を立ち上げることをしている。
- ・(No.13 民有林における原木の増産) 林業分野において、原木生産量の目標等については掲げられているが、伐採後の植林についてはどのようにお考えか。
 - 再造林に関しては、跡地をそのままにすると森林荒廃等の問題が起きてくる。利便性の高い土地は再造林を推進しており、県の造林補助金及び市町村のかさ上げ支援により、山主の方には、ほぼ自己負担なしで植林できる制度を展開している。また、山間奥地の条件不利地については、広葉樹林化を進めている。

- ・(No.22 広域観光の取組の推進) 幡多地域などで成果が出ているスポーツ観光をこの物部川流域でも進めるべきではないか。物部川地域には野市の県立青少年センターや山田の全天候型の野球場など、施設はある。毎年1月頃に開催している小学生のバレーボール大会「アンパンマンカップ」は全国に広がっており、200 から 250 地区の選手が集まるなど、成功している取り組みとなっている。それぞれの町で、特色のある全国大会になるような大きなスポーツの大会を開催していくことによって、観光などへの波及効果が期待できる。

物部川地域は空港が近いというスポーツ観光を目指すうえでは有利性もあるので、是非、推進していただきたい。

→ 例として出ていた幡多地域では、黒潮町が主体となって取り組んでいるが、宿泊先の確保などといった点でも広域で連携して推進している。

物部川地域で進めるとしても、3市が連携して行う必要があると考える。DMO協議会が立ち上がっており、そうした場で提案いただければどうか。

<産業成長戦略について>

- ・移住促進分野の取り組み状況のなかで各地域の移住実績を記載しているが、本会議は物部川地域の会議であるので、物部川地域の情報を抜き出して、移住者の属性等を示していただきたい。

→ 次回はそうした情報も併せて報告する。

- ・県内各地域に維新に関係する歴史遺産があるので、物部川地域の小・中・高生に高知県を十分知っていただくためにも、維新博を機にそうした地域への研修旅行を計画していただきたい。

→ 今回の博覧会は、教育・学びといった視点から高知を知ってもらい、郷土愛のある学生を育てることも位置付けて取り組みを進めているところである。

- ・岡豊城の本丸跡に櫓が建設されている。この櫓は2年目で取り壊すと聞いているが、上がった時の眺望もよく、多くの人も残してほしいと言っているため、何とか残すことはできないか。

→ 2年間で取り壊しをしないといけないかは把握していないが、要望として伝えておく。

■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp